

# 諫早市教育委員会議事録

令和 3 年第 1 1 回（1 0 月定例）

# 令和３年第１１回（１０月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和３年１０月２７日（水）  
1４時００分～1５時３０分
- 2 場 所 諫早市役所 ８階 会議室８－１
- 3 出席者 教育長 石部 邦昭  
委 員 宮本 峻光  
委 員 原田 裕介  
委 員 山口 秀雄  
委 員 中野 高子
- 4 会議に出席した事務職員  
教育次長 高柳 浩二  
教育総務課長 江頭 大一  
学校教育課長 有谷 孝彦  
生涯学習課長 諸岡 昌史  
生涯学習課参事 白石 和幸
- 5 議題  
報告第１３号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委  
嘱について）  
議案第１７号 令和３年度諫早市教育委員会表彰受賞者の決定  
について

## 議事録署名人の指名

宮本委員と原田委員を議事録署名人に指名

## 議事の非公開

報告第 1 3 号及び議案第 1 7 号については人事案件であるため非公開

## 議事録の承認

令和 3 年第 1 0 回（9 月定例）教育委員会の議事録について  
山口委員から自身の発言について修正の意見あり  
一部修正を了承の上可決

## 教育長の報告の要旨

《教育長の報告》

### 1 令和 3 年度諫早市表彰式について

1 0 月 1 日、金曜日、午前 1 0 時から諫早市役所本館 5 階大会議室において執り行われた。市長から団体も含めて 6 5 人に表彰状・感謝状が贈られた。

特筆は、人命救助に 1 0 人で、ランニング中に倒れ心肺停止になった人や剣道指導中に意識不明になった人を救助したものである。

教育文化功労としては 1 5 人で、西村前教育長、秀島前教育委員、文化協会副会長、少年補導員、部活動指導者、生け花連盟、絵本のメロディ、本の読み語り、図書ボランティア、ボースカウト、公民館自主学习グループ、婦人会会長などが対象となった。なお、諫早市教育委員会表彰式は 1 1 月 2 2 日月曜日、午後 2 時から市役所 5

階大会議室で予定されているので、教育委員皆様の御出席をお願いしたい。

## 2 市中総体：駅伝競技について

10月5日、火曜日、長崎総合運動公園において開催された。男女ともスターターをつとめさせていただき、参加チームは、女子がAB含めて24チーム、男子がAB含めて26チームであった。

結果、女子の1位は西諫早Aチーム、2位は明峰Aチームであり、男子の1位は森山Aチーム、2位が西諫早Aチームであった。なお、上位2チームは11月11日に開催される県大会に出場する。

競技内容としては、コロナ禍で鬱積したエネルギーを発散させるような生徒の懸命さに感動を覚えた。また、久しぶりに我が子が力走する姿を見た保護者にとっては、至福のひと時ではなかったかと感じた。優勝した女子の西諫早Aチーム、男子の森山Aチームは県大会でも3位以内に入るのではないかと期待している。

## 3 小学校運動会について

10月17日、日曜日、喜々津小学校運動会に学校教育課の安楽参事補とともに観覧し、終わりまで見させていただいた。

10月5日に新型コロナウイルス感染症の感染ステージが1に引き下げられたのを受けて、本市教育委員会でも同居の祖父・祖母の観戦を可としていたので、多くの観客が子どもたちの頑張りをみる事ができた。保護者のどの顔も嬉しそうであった。

当日は風も適当に吹き、コロナ禍ではあったが、まったく問題なかった。1年生の可愛らしい集団演技と6年生の力強いソーラン節が印象的だった。

本市においては、10月23日の真崎小学校を最後に、市内小学校28校、中学校14校のすべての学校で運動会を実施したことになる。

## 4 第2回長崎県市町村教育委員会連絡協議会小委員会について

10月18日、月曜日、午前11時から市役所会議室5-1において、第2回長崎県市町村教育委員会連絡協議会小委員会が開催された。ここにいらっしゃる原田委員も会長として御出席され、長崎市、佐世保市、壱岐市、長与町、新上五島町、佐々町、諫早市の各教育長が出席した。

県教育長あて提出する令和4年度の要望事項「人事異動に関する要望書」や「当日の意見交換の内容」等について協議を行った。

また、通級指導教室の教職員配置や教頭の業務軽減のための「教員定数外配置」などについても協議を行った。

5 諫早市社会教育委員会について

任命式を実施し、社会教育委員に対する期待と仕事内容などが説明された。また、成人式について意見を伺った。

6 図書館訪問について（諫早、西諫早、たらみ及び森山）

諫早、西諫早、たらみ、森山の全職員と懇談した。諫早図書館館長・副館長にも同行してもらい、施設案内、仕事内容及び困っていることはないかなどを聞き、どの図書館も、歓迎ムードの中で話すことができた。また、あなたの業務の代わりはいても、家庭を含めてあなたの代わりはいないこと、健康に気を付けて勤務して欲しいということ、また、県下の図書館に勤務していることに誇りを持って積極的に勤務して欲しいこと、また、各図書館で特色を出して欲しいことなど私の思いを伝えた。どの図書館も雰囲気良く、職員のことを知るよい機会となった。

7 その他

10月22日、金曜日に行われた有喜中学校の研究発表に中野委員及び教育委員会が出席した。

10月30日、土曜日の午後0時30分から午後4時30分まで、第28回教育県長崎振興大会 諫早大会（諫早文化会館）が開催される予定である。

11月4日、木曜日は校長・園長研修会で説示。宮本委員も御出席予定である。

《教育長の報告に対する質問・意見》

質問・意見なし

《教育総務課長の報告》

令和3年度諫早市教育委員会表彰式について

《教育総務課長の報告に対する質問・意見》

質問・意見なし

## 《学校教育課長の報告》

### コミュニティ・スクール導入について

## 《学校教育課長の報告に対する質問・意見》

### 〔委員〕

私ごとではあるが、県の社会教育委員を8年間活動していた中でも、この学校支援会議とコミュニティ・スクールの違いというものを見てきて、法的根拠の有無とか、所管課が義務教育課であるとか、生涯学習課であるとか、そういった形のものではあるのだが、内容を明確に理解するのはなかなか難しいと感じている。

一つ目の質問であるが、校長先生方から特に多くの質問が挙がっている項目と、希望している学校が何校あるのか分かれば教えていただきたい。

二つ目の質問として、これは私自身が個人的に危惧していることであるが、コーディネーターの探し方について。

西諫早小学校地区には健全育成会で御活躍されていらっしゃる方がいるのだが、この方は見識がとても広く、地域のいろんな方からの意見を吸い上げて、フラットな立ち位置でいろんな発言をしてくださる。このような方がいらっしゃる地域であればコミュニティ・スクールを始め、いろいろなことがうまくいくと考えられるが、現実にはなかなか難しいのではないかと思います。

組織的に、それにかかわる時間が長い人に対して意見や発言がし辛くなる風潮や、コーディネーター自身が中立の立場ではなく、地域や学校のどちらかに寄りすぎていたりすると、うまくいかない可能性もあるため、コーディネーターの人選が非常に重要になると考える。

### 〔学校教育課長〕

一つ目の質問、校長の意向についての回答だが、現在調査中であり、42校中10校が回答を終えているが、コミュニティ・スクールへシフトする学校は0である。ただ、コミュニティ・スクールに興味を示す学校や、回答のために地域と話し合っている学校もあるようなので、数校は手を挙げるのではないかと考えている。

二つ目の質問、コーディネーターの探し方については、非常に大きな課題であると捉えている。

### 〔生涯学習課参事〕

学校支援会議とコミュニティ・スクールは、基本的にはほぼ同じであるが、国が求めている学校を核とした地域づくり、地域と共に

ある学校づくりの双方含めたものが学校支援会議である。協議の場である学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいる。ただ、協議・話し合いの場だけではより良い学校づくりができないため、活動というものが必要となる。その活動の部分を担当するのが地域学校協働本部である。

国は、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の両輪で進めていくことを指針としているが、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部をひっくるめて組織化しているのが長崎県独自の学校支援会議である。ただし、当該学校支援会議に法的な根拠は一切ない。一方、コミュニティ・スクールの場合は、校長が示す学校経営方針等について委員が承認する必要があるということがポイントで、この承認するという行為により、委員にも少なからず責任が生じてくるというところが一番大きな違いであると言える。

もう一点、コーディネーターについてだが、中野委員が紹介された方は健全育成会の副会長をなさっている方で、地域学校協働活動推進員に該当するような方であり、話し合いと活動をつなぐ地域の代表と捉えていただけて結構である。コーディネーターの発掘、養成等については、これまでも生涯学習課の事業の一つであった。今年度も11月に研修会を開催する予定であり、話の中ででてきた健全育成会の副会長に講師をお願いしているところである。

[学校教育課長]

本市においては、しばらくの間、学校支援会議を継続する予定であるが、先駆的にコミュニティ・スクールへ移行する学校又は学校支援会議の組織を一部改編しながらコミュニティ・スクールへスムーズに移行できるよう考えている。

[生涯学習課参事]

今年度からコミュニティ・スクール諫早版ということで、推進会議を立ち上げている。その場で、どのようにしたら学校支援会議が活性化するか、どのようにしたらコミュニティ・スクールに緩やかに移行できるかなどを協議し、随時校長会・教頭会で情報提供させていただいている。

ただ、コミュニティ・スクールへの移行については、学校を核とした地域づくり、地域と共にある学校づくりを目的としていることから、学校と地域がどう考えるかということが一番大事であり、教育委員会が指定をするというのはいかがなものかと、担当レベルでは考えている。

先ほど学校教育課長から話があったように、現在、学校に調査をかけているところであり、コミュニティ・スクールという看板に掛

け替えることで活性化につながると考えている学校・地域もあろうかと思われるので、移行を希望する学校に対しては教育委員会として最大限のバックアップをしていきたいと考えている。

[委員]

以前、学校支援会議の一員として出席させていただいたことがある。当時「早寝早起き朝ごはん」という国民運動の推進があり、それに携わっていた推進員が子ども達にアンケートを取り、また、そのアンケートに対して所見等を返していた。その中に、日常的に朝ごはんを食べていない子どもがいたため、「これではだめですよ。きちんと朝ごはんを食べましょう。」と返したことに對し、学校支援会議の際、保護者から「なぜ、うちの子どもがだめなのか。」と苦情が来たことがあった。それに対し、学校関係者が回答をしなかったため、私が代わって朝ごはんの必要性を回答したことがあったが、その推進員はかなりこたえた様子であった。

推進員を選出する際は、その推進員の考え方、人となりをしっかり把握しておく必要がある。また、この会議のときのように推進員が答えられない場合は学校関係者でしっかりフォローをしてやるといった体制を整えることが大事であると考えている。

[生涯学習課参事]

御意見をいただいた、地域学校協働活動推進員であるが、コミュニティ・スクールになった場合には、その方に対し委嘱をするよう準備を進めている。先ほど申し上げたコーディネーターの養成、そして地域学校協働活動推進員の養成については、生涯学習課の事業として引き続き研修を行うこととし、地域と学校と家庭とタッグを組んで、良い学校づくり、良い地域づくりができるよう、サポートしていきたいと考えている

[委員]

引き続き研修を行うとおっしゃったが、研修を受講する人、また、研修の講師を行う人への予算措置はしているのか。

[生涯学習課参事]

講師に対する予算措置は行っているが、受講者に対する予算措置は行っていない。

[委員]

受講者に対する予算措置についても今後検討していただきたい。

《生涯学習課長の報告》

成年年齢引き下げに伴う成人式の在り方について（市内高校訪問）

## 《生涯学習課長の報告に対する質問・意見》

[委員]

こちらの資料に列挙されているとおり、やはり18歳では難しいのかなと感じる。今までどおり、20歳での成人式をお願いしたい。

[委員]

同意である。

[委員]

私の娘は令和4年の成人式に参加させていただく予定であるが、意見を聞いてみたところ、成年年齢引き下げとなった初年度、18歳で成人式を開催するとなると、対象となる3学年が集うこととなるため、参加者は心情的にいかがなものかと。また、先ほど説明にもあったように、対象者が受験前・就職前ということもあり厳しいのかなと考える。

[委員]

私も委員の皆様がおっしゃるとおり、20歳がよいと思う。ほかの視点からも若者の地元定着率を上げるとか、例えば、たくさんのひとが集うことで、ふるさとしていいなと思える、よい機会になるのではないかと考える。

[生涯学習課長]

今回、校長先生方からも意見を聞いたところだが、20歳がよいという意見ばかりであった。

県内では既に長崎市、佐世保市、島原市及び松浦市が対象年齢に方針を固めており、いずれも20歳としている。また、ほかの県内自治体においても検討段階ではあるが、従来どおり20歳の方で進めているということであった。

[委員]

確認であるが、対象年齢は自治体ごとに決定してよいという解釈でよろしいか。

[生涯学習課長]

お見込みのとおりである。今後の予定であるが、11月中に本市の方針を固め、議会への報告、また、市民の皆様へは市報、市ホームページ等を活用し周知を図りたいと考えている。

## 《非公開議事》

報告第13号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）

生涯学習課長 説明  
削除  
了承

議案第 17 号 令和 3 年度諫早市教育委員会表彰受賞者の決定について

教育総務課長 説明  
削除  
可決

## その他

教育総務課長  
定例教育委員会の日程について説明

15時30分閉会